

TOTO

フラッシュバルブ(心間調節タイプ)

TV585型
TV565型・TV665型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

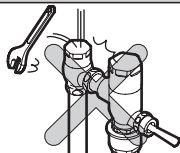
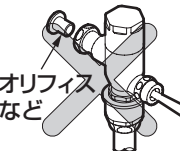
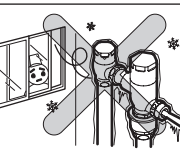
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

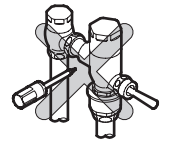
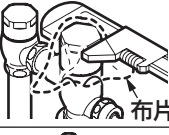
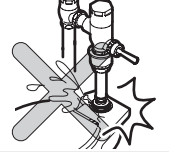
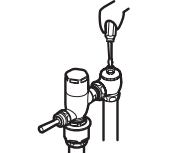
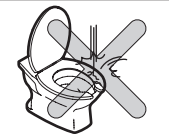
- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 注 意		
 禁 止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない 洗浄機能への悪影響や水漏れのおそれがあります。	
	凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

 注 意		
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	めっきされた部分にモーターレンチなどを用いる場合は、めっきを傷つけないように必ず布片を挟む めっきがはがれ、けがをするおそれがあります。	
	空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする 新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	必ず実行 ゴムパッキンを忘れずに取り付ける 締付ナットをしっかりと締め付ける 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	ピストンの掃除をする際は、いきなりピストンを取り出さずに、止水栓または元栓を閉めてから行う (取扱説明書を参照してください) 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	フラッシュバルブ本体は重いため取り扱いには十分に注意する 便器などに落とすと、便器が破損して水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 また、けがをするおそれがあります。	

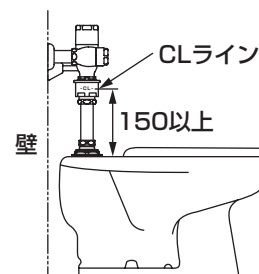
2 仕様

タイプ		TV565型・TV665型	TV585型
洗浄水量調節範囲		5.5～8L	6～8L
工場出荷時洗浄水量		5.5L	6L
給水圧力	最低必要水圧 (流動時)	0.07MPa	0.04MPa
	最高水圧	0.75MPa (静止時)	0.07MPa (流動時)
給水接続部		25A(ねじサイズ：Rc1)	
使用温度範囲		1～40℃	
使用水	水道水のみ	TV565型	TV585型
	水道水・井戸水 再生水・雑用水 (注)	TV665型	—

(注)井戸水・再生水・雑用水は使用できる水質範囲があります。
詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。
ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

3-1 取り付け前に

- CS494系以外の大便秘器には使用できません。
- TV565型・TV665型は給水圧力0.07MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)の場合のフラッシュバルブです。
- TV585型は給水圧力0.04MPa(流動時)～0.07MPa(流動時)の場合のフラッシュバルブです。TOTOの専用腰掛便器との組み合わせでご使用ください。他社製便器には取り付けできませんのでご注意ください。
- フラッシュバルブ本体は、水量調節ねじが必ず上にくるように垂直に取り付けてください。横向きになると、正常な機能を発揮しないことがあります。
- バキュームブレーカー側面のCLラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。(下図参照)
※CL (Critical Installation Level) とはバキュームブレーカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。

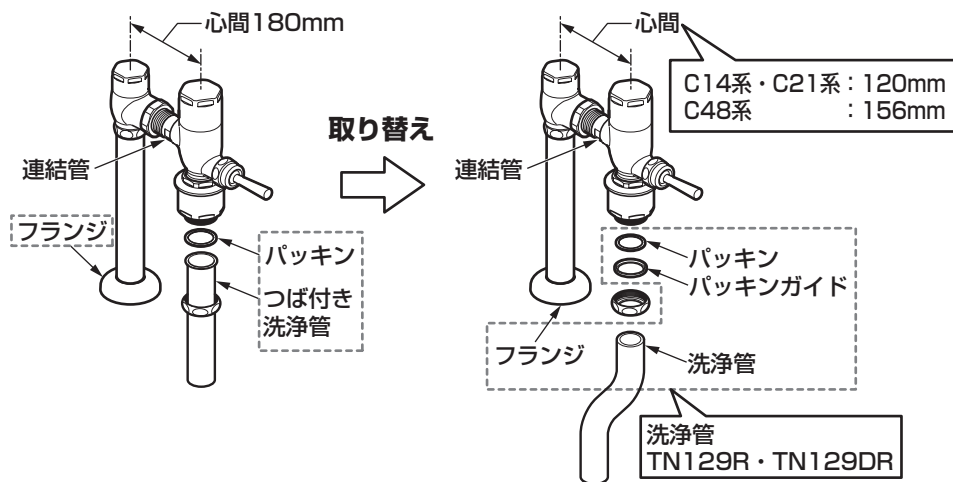


- 床給水の場合は、パイプホルダーなどで給水管や洗浄管を確実に固定してください。

●C716系の床給水便器からの取り替えの場合は、別売りの奥行調整用洗浄管TN129Rが必要です。洗浄管が長い場合は切断し、調節してください。

●C14系・C21系の床給水便器からの取り替えの場合は、別売りの奥行調整用洗浄管TN129R(水道水以外を使用する場合はTN129DR)および横位置調整用連結管THD59P120が必要です。洗浄管が長い場合は切断し、調節してください。

●C48系の床給水便器からの取り替えの場合は、別売りの横位置調整用連結管THD59P160が必要です。



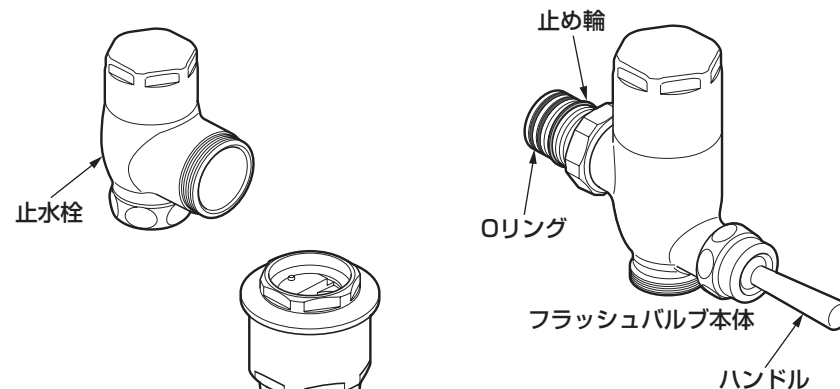
大便器	C716系	C14系・C21系	C48系
洗浄管	TN129R	TN129R または TN129DR	—
連結管	—	THD59P120	THD59P160

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

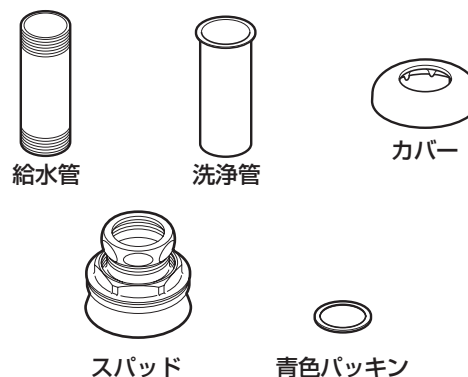
部品の確認

次の部品があることを確認してください。

フラッシュバルブ本体



バキュームブレイカー



※床給水タイプには便座当たり止めは付いていません。

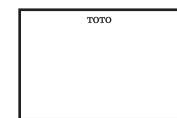
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※井戸水・再生水・雑用水は使用できる水質範囲があります。

詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。

ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

その他



施工説明書

必ずお客様に
お渡しください



取扱説明書

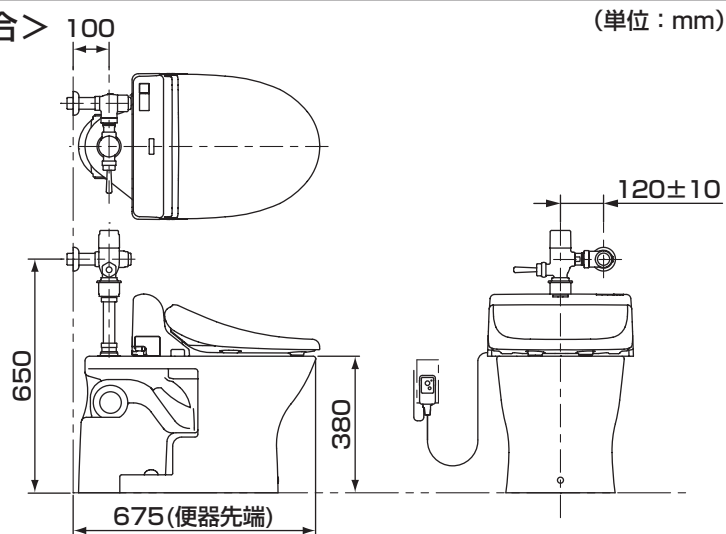
5

完成図

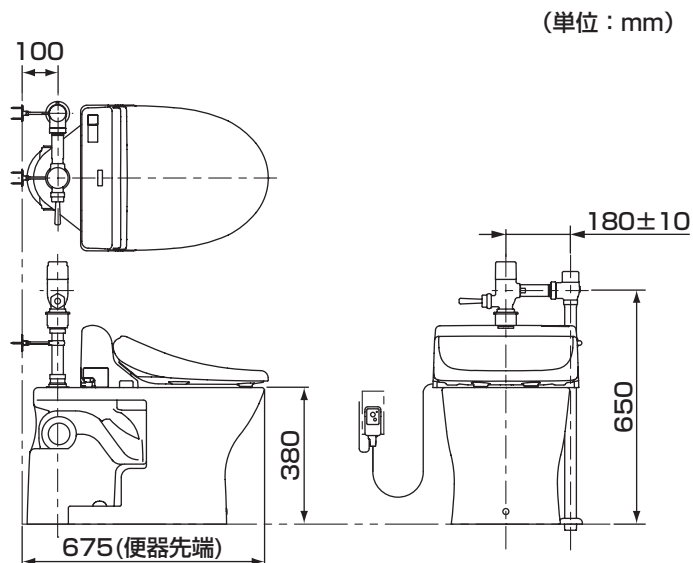
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

CS494系 + TV565型・TV665型の場合

<壁給水の場合>

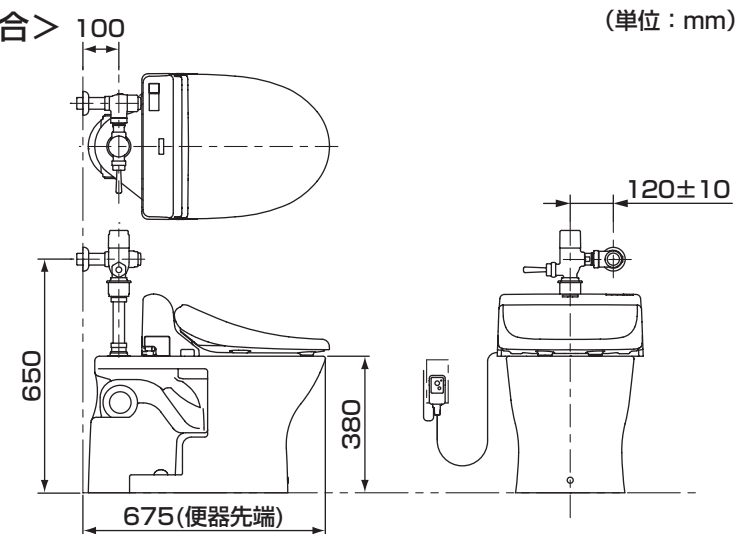


<床給水の場合>



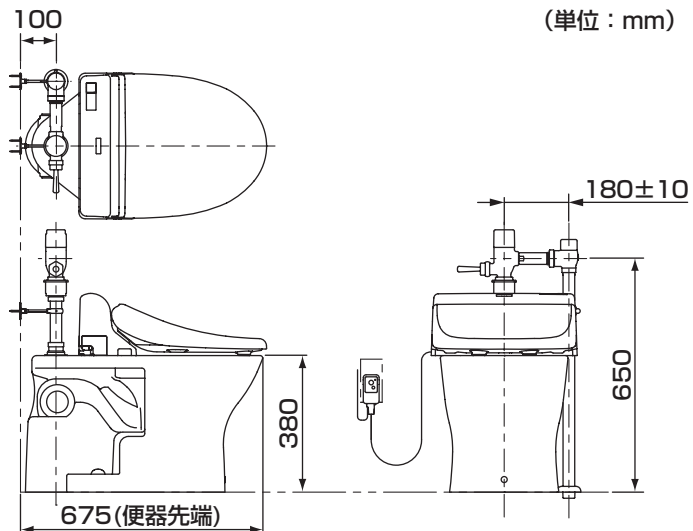
CS494系 + TV585型の場合

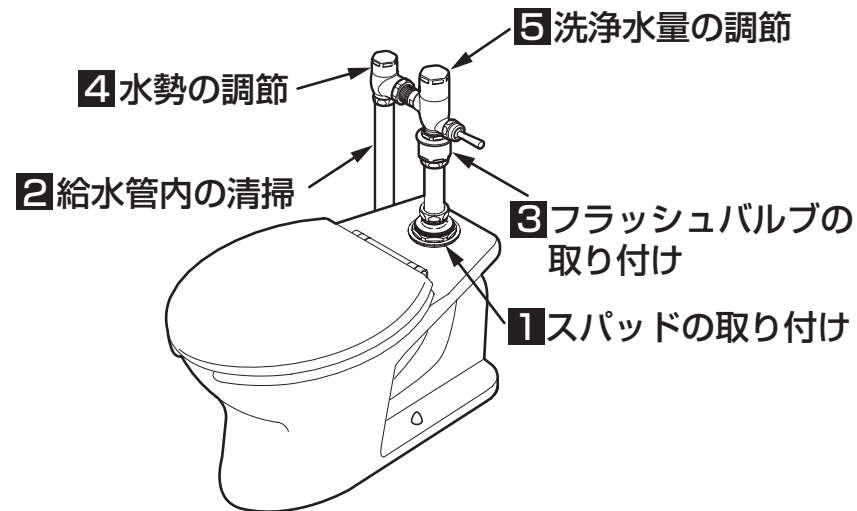
<壁給水の場合>



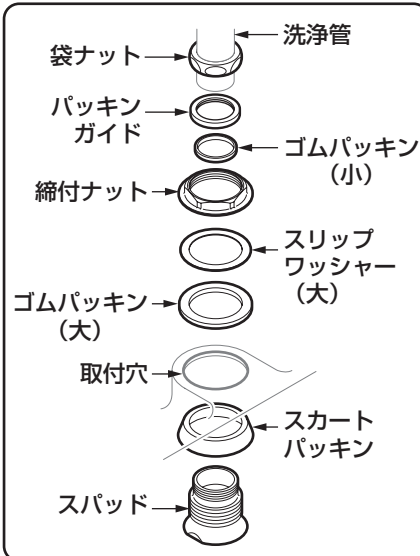
※従来の低圧形フラッシュバルブTV17*型の給水口高さ730mmに対応可。

<床給水の場合>

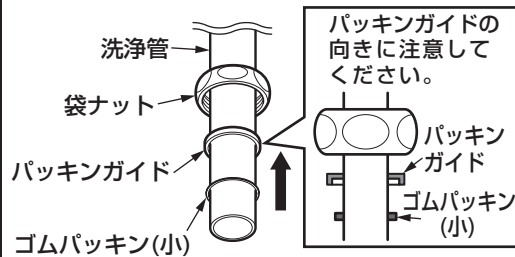




1 スパッドの取り付け



① 洗浄管に袋ナット、パッキンガイド、ゴムパッキン (小) を挿入する。



注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

② あらかじめ指にスカートパッキンを通し、スパッドを落とさないように取付穴に差し込む。

右図のように切り落し部以外から取付穴に入れ、切り落し部を通過させるように差し込んでください。

※ 始めに切り落し部から差し込むと、取付穴と干渉し、通過しない場合があります。

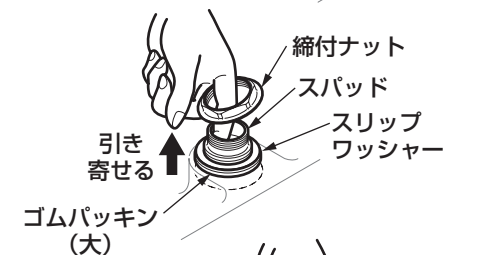


③ スパッドと陶器の間にスカートパッキンを押し込み、スパッドに組み込む。

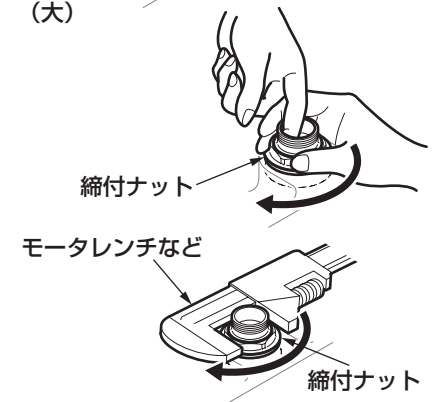


④ ゴムパッキン (大) ・スリップワッシャーの順にスパッドに組み込む。

⑤ あらかじめ指に縮付ナットを通し、スパッドを取付穴の中心で引き寄せ、縮付ナットを手で締め込む。



⑥ モータレンチなどの工具を使用して縮付ナット確実に締め込む。



2 給水管内の清掃

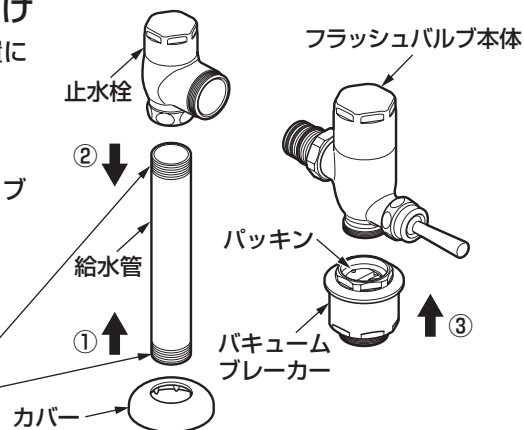
取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

3 フラッシュバルブの取り付け

- ① 給水管にカバーを通し、所定の位置に接続する。
- ② 止水栓を給水管に接続する。
- ③ フラッシュバルブ本体にバキュームブレイカーを接続する。

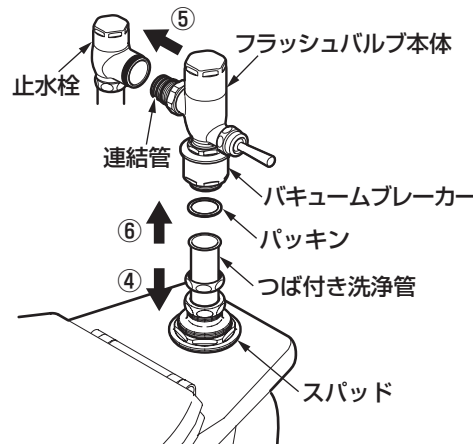
シールテープを巻くこと



- ④ つば付き洗浄管をスパッドに仮接続する。

- ⑤ フラッシュバルブ本体の連結管部を止水栓に差し込む。

- ⑥ つば付き洗浄管をバキュームブレイカーに仮接続する。



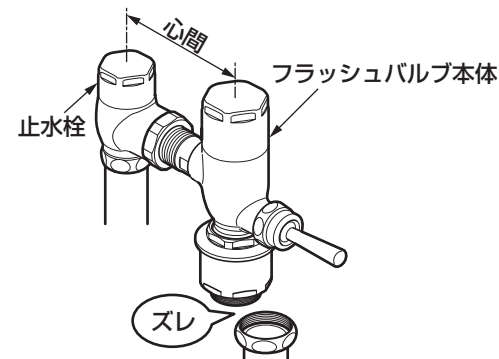
注意

つば付き洗浄管が長い場合は切断し、調節してください。

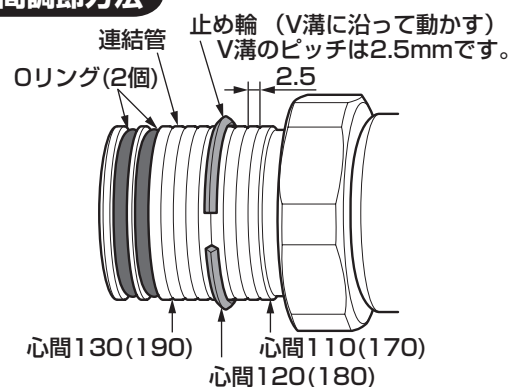
注意

つば付き洗浄管の袋ナット部には必ずパッキンが入っていることを確認してください。

- ⑦ フラッシュバルブ本体と止水栓の心間にズレがある場合は心間調節方法を参照して、調節する。

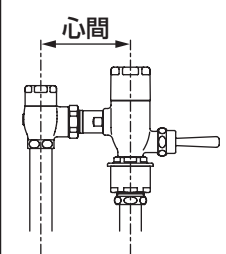


心間調節方法



(単位: mm)

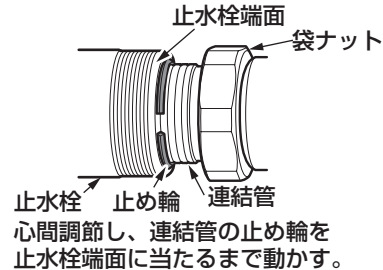
心間120の場合



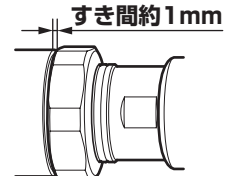
() 寸法は心間180の場合

連結管差し込みのポイント

袋ナット締め付け前



袋ナット締め付け後



工具を使って袋ナットを確実に締め付ける。
※締め付け後の止水栓と袋ナットのすき間は約1mmになります。

- ⑧ 心間調節完了後は工具を使ってすべての接続部を確実に締め付ける。

4 水勢の調節

水圧の高低によって水勢が変わります。
水勢が強すぎると水飛びを生じたり、洗浄音が高くなったりします。

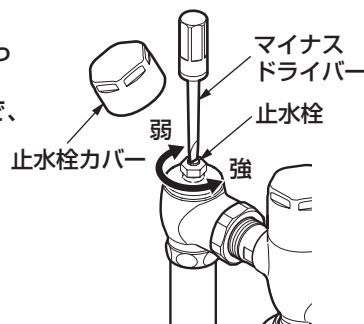
また水勢が弱すぎると、十分な洗浄ができませんので、

必ず止水栓で調節を行ってください。

時計回り…水勢が弱くなります。

反時計回り…水勢が強くなります。

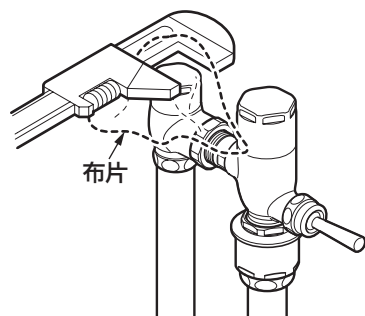
※止水栓カバーを取り外すと止水栓があります。



注意

止水栓カバーおよびフラッシュバルブ本体カバーなど、めっきされた部分に工具などを用いる場合は、めっきを傷つけないように必ず布片を挟んでください。

めっきがはがれ、けがをするおそれがあります。



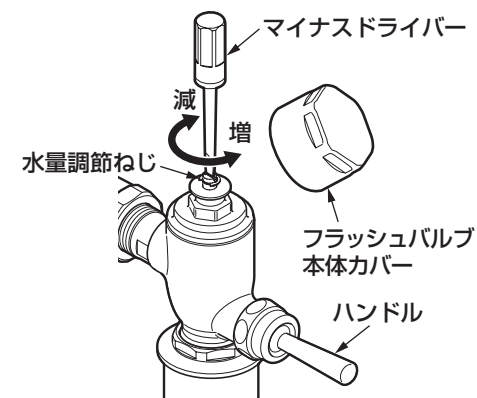
※TV585型は止水栓全開でお使いください。

5 洗浄水量の調節

水量の調節をするときはフラッシュバルブ本体カバーを取り外し、水量調節ねじで行ってください。

時計回り…洗浄水量が減少します。

反時計回り…洗浄水量が増加します。



大便器の洗浄様式にあわせて、次の要領で洗浄水量を調節してください。

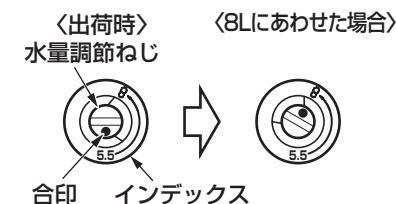
①フラッシュバルブ本体カバーを取り外す。

注意

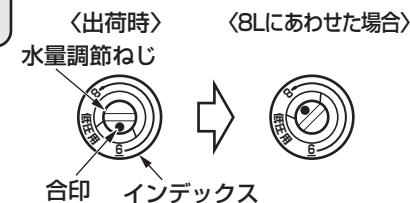
●出荷時は右図のようにセットされていますので、水量調節ねじを矢印方向に回転させインデックスに表示の洗浄水量を示す数字に合印をあわせてください。

●インデックスに表示されている数字は、洗浄水量の調節が容易にできるように表示した目安です。したがって正確な洗浄水量を表わした数字ではありません。

TV565型・TV665型の場合



TV585型の場合

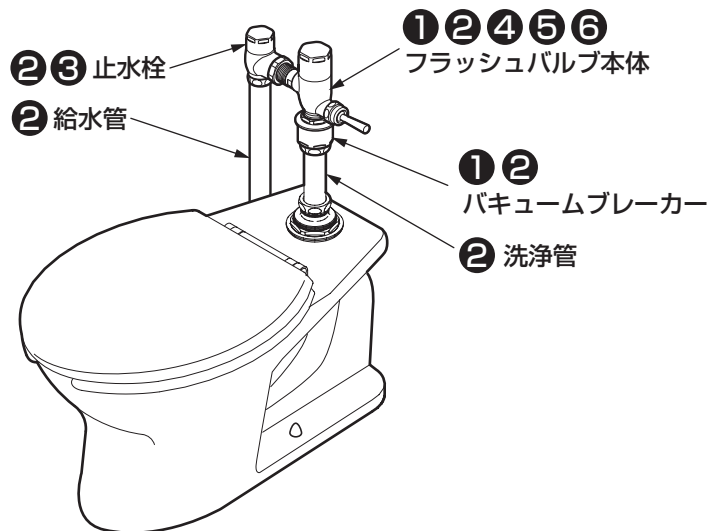


②合印をあわせたあと、ハンドルを操作して確実に洗浄できるか確認する。

③洗浄の確認が終わったらフラッシュバルブ本体カバーをねじ込み、締め付ける。

※標準調節洗浄水量で洗浄が不完全な場合は、水量調節ねじで、洗浄水量をさらに適正に調節してください。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ① フラッシュバルブ本体はしっかり取り付けられていますか？

➡ ⑥-② - ③ 「フラッシュバルブの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ② 止水栓部および各連結管部の水漏れはないですか？

➡ ⑥-② - ③ 「フラッシュバルブの取り付け」参照

流量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は次の項目を確認してください。

- ③ 止水栓は開いていますか？

➡ ⑥-③ - ④ 「水勢の調節」参照

- ④ 洗浄水量は正しく設定されていますか？

➡ ⑥-③ - ⑤ 「洗浄水量の調節」参照

- ⑤ ピストンバルブのフィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ フィルターの掃除をする。
※取扱説明書
「日ごろのお手入れ」参照

- ⑥ 異常な音はありませんか？

➡ フィルターの掃除をする。
※取扱説明書
「日ごろのお手入れ」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。